

JUMP - JAM ～みんなであそぼう～

日 時：令和6年1月19日(金) 16:00～16:45
 令和6年2月16日(金) 16:00～16:45
 対 象：小学生以上 定 員：なし
 内 容：JUMP-JAMプログラムを行っています。学校・学年関係なく、みんなが楽しく遊べる運動遊びプログラムです！
 申 込：不要

卒乳のおはなし

日 時：令和6年1月26日(金)10:30～11:30
 対 象：卒乳に興味がある方 定 員：10組
 講 師：助産師
 内 容：卒乳時期の子どもの成長や、親子の関わりについて考えてみましょう。
 申 込：1月4日(木)～来館又は電話受付

0歳からはじめるむし歯予防

日 時：令和6年1月29日(月)10:30～11:30
 対 象：0歳児親子 定 員：15組 講 師：歯科衛生士
 内 容：歯科衛生士の方を講師としてお招きし、むし歯予防についての講話と質疑応答を行います。
 持ち物：普段使っている歯みがきグッズがあればお持ちください。
 申 込：1月4日(木)～来館又は電話受付



0歳からはじめるむし歯予防

日 時：令和6年1月22日(月) 10:30～11:30
 対 象：0歳児親子
 定 員：20組
 講 師：歯科衛生士
 内 容：歯科衛生士の方を講師としてお招きし、むし歯予防についての講話と質疑応答を行います。
 持ち物：普段使っている歯みがきグッズがあればお持ちください。
 申 込：1月4日(木)～来館または電話受付



産後ママのセルフケア

日 時：令和6年2月15日(木)10:00～11:30
 対 象：1ヶ月検診終了後～4ヶ月の子と母親
 (実施日当日の月齢)
 定 員：10組
 講 師：助産師
 内 容：助産師の方を講師としてお招きし、「ママのからだのケア」や「ママ同士の交流」「手遊びうた・わらべうた」などを行います。
 持ち物：バスタオル(母親が使う体操用)、おくるみ、飲み物(母親の水分補給用)、必要があればミルク
 申 込：1月29日(月)～来館または電話受付



関東大震災100年を迎えて

1923年9月1日(土)に発生し、10万人を超える犠牲者を出した、関東大震災。今年が関東大震災からちょうど100年目の年です。

大崎第一地域センターでは様々な災害に備え、防災意識を高めるための研修会や訓練などを定期的に行っています。10月28日(土)には町会の方を対象に、埼玉県春日部市にあります、地下神殿とも呼ばれている首都圏外郭放水路の見学など研修会を実施しました。

また12月2日(土)には区内全域で、各地区の学校に避難所を開設するなどの一斉防災訓練が行われました。

いつ起こるか分からない自然災害。普段から災害に備えて様々な対策を行うことが重要です。(事務局)



研修風景



地下神殿

天王洲アイル～遊覧船乗船体験～



11月5日(日)に、品川区青少年対策大崎第一地区委員会の主催事業「天王洲アイル～遊覧船乗船体験～」を実施しました。当日は午前の部と午後の部に分かれ、遊覧船(午前・午後各2艘ずつ)に乗船し、天王洲ピア桟橋を発着場として、東京湾を約90分かけて一周しました。ガイドさんの説明やクイズを解きながら、天王洲の壁画アートなど品川の水辺の魅力に触れ、大人も子どもも一緒に楽しんでいる様子が印象的でした。

大崎第一地区委員会では、来年度以降も様々な事業を行う予定です。(事務局)



天王洲ピア桟橋から出船

目黒川みんなのイルミネーション2023

今年も11月10日～1月8日まで、大崎橋から居木橋間の目黒川両岸に冬の桜が咲きます。2011年の東日本大震災のあと都内のイルミネーションも自粛傾向にあったなか、電力不足でも遠慮なく使えるエネルギーとして、地域の飲食店・家庭から使用済食用油をいただきバイオディーゼル燃料にアップリサイクルし100%自家発電でイルミネーションを点灯してきました。

今年初の試みとして家庭で使用済の食用油を持ちよる「みんなのアップサイクルスポット」が初日限定で登場しました。16時から点灯式・オープニングセレモニーも行われ賑わいました。期間中毎日17時から22時まで約38万球のLEDによる満開の冬の桜をお楽しみください。(編集委員 服部)

お問合せ：目黒川みんなのイルミネーション広報事務局
 TEL: 6261-7413



目黒川冬の桜

したたかに 生きてる証 ごみの山 西五反田六丁目 久保田 公二	窓開けて 眠気を払う 冬の風 旗の台四丁目 泉 喜久雄	腰曲がり 物干し高く 背伸びする 旗の台六丁目 松本 悦子	美味しい店 噂を食いに 長い列 南品川六丁目 田中 邦彦	片言の 廻らぬ舌の 愛らしさ 旗の台六丁目 野村 美恵子	同級生 手紙の良さを かみしめる 西五反田三丁目 大島 道子
--	--------------------------------------	--	---------------------------------------	---------------------------------------	---

川柳・俳句

編集後記



思いおこせば、今年ほど猛暑が続いた夏は無かったような気がします。世界各地から山火事、干ばつ、洪水、農作物の不作等の厳しいニュースが頻りに流れてきました。

地球の温暖化は私たちの生活のリズムだけでなく、世界の気象や風土、動植物の生育環境等にたくさんの深刻な被害を与えています。

春夏秋冬の四季がやさしく流れていたかつての日本のみならず、生きとし生けるものすべての未来がかかっているこの地球の、これ以上の温暖化を防ぐ手立ては私たちには無いのでしょうか!

(編集長 久保田)